

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 2 回高崎学園コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		令和 7 年 7 月 11 日（金）開会 13:30 閉会 16:00			
開催場所		つくば市立荃崎第一小学校 図工室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	岡田 克司、岡田 良一、渡辺 峰子、長谷川 清恵 勝又 みゆき、常國 悠香 高崎中学校：校長 片山 敬介、教頭 木村 文彦 教務主任 古國 芳彦 荃崎第一小学校：校長 小澤 光幸、教頭 三橋 伸孝 教務主任 千葉 直樹			
	その他				
	事務局	教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏			
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人	
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため			
議題		熟議「これからの地域学校協働活動の確認」			
会議録署名人			確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 授業参観 4 前回の議事の確認 5 協議：(1)熟議「これからの地域学校協働活動の確認」 (2)その他 6 閉会				

<審議内容>

1 開会

岡田克司会長：令和7年度第2回高崎学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議を進行するにあたり書記を高崎学園の千葉委員にお願いします。→承認

2 挨拶

岡田会長：本日のコミュニティ・スクール協議会が有意義なものになるよう、さまざまな意見を出して、活発な交流ができると幸いです。

3 授業参観

参加者で5年生から順に全学級を参観

4 前回の議事の確認

岡田会長：前回の議事の確認の前に、両学校長より挨拶をいただきます。

小澤委員、片山委員より挨拶

岡田会長：前回の議事の確認

5 協議

(1)熟議「これからの地域学校協働活動の確認」

ファシリテーター：長谷川委員

長谷川委員：前回の熟議から、今後の活動へ向けてのパワーポイントによる説明

岡田副会長：前回小学校での困り感について（登下校の見守りボランティア）、何かあればお話してください。

小澤委員：1年生の下校時に、バス下校の見守りボランティアが必要なため地域で募集はできないでしょうか。

岡田副会長：地域では、回覧板や地区の掲示板を活用して募集をする方法が考えられます。

長谷川委員：将来的には、この協議会が窓口になっていくことがベストだが、今のところは、応募の仕方や集め方は、学校が窓口になってもらう以外にないです。

岡田会長：中学校はどうでしょうか。

古國委員：学習支援について、お手伝いをいただければありがたいです。

長谷川委員：自分は保護者の立場で現在参加させてもらっているが、地域の方に参加してもらった場合の保険やハンドブックを活用したレクチャーは誰が行うかなど、課題はいくつか出てきています。

岡田会長：他はいかがでしょうか。

三橋委員：現在学園防災会議を独立して行っていますが、先々はこの協議会の中に組み込むことはどうでしょうか。

岡田会長：次回以降に検討していきましょう。他にありますか。

長谷川委員：家庭教育学級の進捗状況について報告します。

荃崎学園と合同で講演会を行います。12月6日（土）にレイクサイドつくばを会場に「オシエルズ」という方々を講師に行う予定で動いています。

岡田会長：わかりました。他にはどうでしょうか。

小澤委員：学校の環境整備を地域の方にもお手伝いいただければありがたいです。

岡田副会長：地域へ案内をしていけるように取り組んでいきましょう。

長谷川委員：いくつか活動の方向性が見えてきました。実際に活動できるよう準備を進めていきましょう。

岡田会長：長谷川委員ありがとうございました。次回の協議会までには、活動が進んでいるようにしていきましょう。

(2)その他

- ・次回、コミュニティ・スクール協議会の予定を確認

6 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定

令和7年度第2回高崎学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和7年7月11日（金）

13：30～

場所：荃崎第一小学校 図工室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 授業参観

4 前回の議事の確認

5 協 議

（1）熟議 「これからの地域学校協働活動の確認」

（2）その他

6 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 1 回高崎学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 7 年 5 月 23 日（金）開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立高崎中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	岡田 克司、岡田 良一、長谷川 清恵、田中 雄輝、 勝又 みゆき、常國 悠香 高崎中学校：校長 片山 敬介、教頭 木村 文彦 教務主任 古國 芳彦 荃崎第一小学校：校長 小澤 光幸、教頭 三橋 伸孝、 教務主任 千葉 直樹		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 小島 健 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 中山 克巳		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい児童生徒に関する手立てについて」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書及び委嘱状交付 3 行政説明「つくば市コミュニティ・スクールについて」 4 会長・副会長の選出 5 協議 (1) 学校運営の基本方針 (2) 地域と学校の連携事業 予算計画について (3) 熟議「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていき			

	たい児童生徒に関する手立てについて」 (4)「家庭教育学級モデル校事業」について
6	閉会
<審議内容> 1 開会 岡田克司会長：令和7年度第1回高崎学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議を進行するにあたり書記を高崎学園の古國委員にお願いします。→承認 2 任命書の交付及び委嘱状の交付 3 行政説明 木村委員：つくば市コミュニティ・スクールについて教育局生涯学習推進課社会教育主事、村上先生から御説明があります。 ・つくば市教育大綱で位置づけられている、一人ひとりが幸せな人生を送るということを最上位の目標としている。 ・保護者・学校・地域行政、これらみんなが社会全体で子どもたちを支えるという位置付けになる。 ・コミュニティ・スクールは、地域とともに子どもを育む学校ということにとらえている。 ・つくば市の特徴として、小学校、中学校に1つのコミュニティ・スクールを設置。協議会の中の話合いを「熟議」という言葉を使うことが多いが、これは、「よく話し合う」ということ。 ・市のコミュニティ・スクールの4つの機能 ①校長先生が作成する学校運営の基本方針を委員の皆様に承認をしていたく機能 ②学校運営について、校長に意見を述べることができる機能 ③教育委員会に意見を述べるができる機能 ④学校評価で、子どもたちのアンケートで学校の課題を見出してそれに対して話し合うことができる機能 ・コミュニティ・スクール協議会は、法的な位置付けがある。特別な職の公務員という立場で、その地位を政治活動、宗教活動等に利用する行為をしてはならないという責務がある。 ・規則の第4項には、「委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする」とある。 ・牛久市の取り組み 学校に行きづらい子どもたちの居場所をつくる話や農業体験ができるよう、子どもたちに体験してもらおうという話。 ・コミュニティ・スクールの働き ①育てたい子ども像を協議会で話し合う。昨年度、高崎中学校で茨城弁の授業を行い、コミュニティ・スクール協議会で話し合った内容が地域学校協働活動として、郷土愛を育てることにつながる。 ②地域学校協働活動推進員（コミュニティ・スクールコーディネーター）	

が中心になって活動につなげていく。今年度、高崎学園では、長谷川委員と中山委員に地域学校協働活動推進委員の役割を担ってもらおう。

4 会長・副会長の選出

木村委員：会長・副会長の選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則、第5条第2項に、会長及び副会長は委員の選により定めるとあります。昨年度同様、岡田克司委員に会長を、岡田良一委員に副会長を引き続きお願いしたいと思います。→承認

5 協議

(1) 学校運営の基本方針

【学園グランドデザイン】

片山委員：学園目標は「ともに学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

目標を達成するために3つの観点で子どもたちを育てたい。

- ①自ら学習に取り組める児童・生徒
- ②思いやりと協調性のある児童・生徒
- ③心身ともにたくましく生きる児童・生徒

・ 茎崎第一小学校と高崎中学校のグランドデザインの説明

説明後、学園グランドデザインの承認を受ける。

(2) 予算計画について

各学校の予算計画書の説明

(3) 熟議「コミュニティ・スクールとして高崎学園が育てていきたい児童生徒に関する手立てについて」

ファシリテーター：長谷川委員

2つのグループに分けて熟議（模造紙にまとめる）

Aグループ…岡田副座長、中山委員、常國委員、小澤委員、三橋委員、千葉委員

Bグループ…岡田座長、長谷川委員、田中委員、勝又委員、片山委員、木村委員、古國委員

①情報共有及び意見交換 40分間熟議

②グループごとの発表

Aグループ（茎崎第一小学校：千葉委員発表）

- ・ 大きな柱として交流をいかにしてつくっていくか。
- ・ 放課後の時間にプレイバンク活用。その一方ですべての児童へ平等にできる機会はないか。人材バンクをつくりながら進めていく。
- ・ 今年度日課を変えたことによって、一年生が単独で帰る時間ができてしまった関係で、地域の交通指導などのボランティア協力を求め、注意が必要なところに立ってもらおう。
- ・ 学校から、データのみでなく紙媒体でも協力の要請をしていく必要があるのではないか。情報提供において、地域に知っていただくためにはデータのみでなく、回覧板などで伝えていく必要がある。

- ・交流の場で地域の方と積極的に関わっていく機会を設けていく。

B グループ（高崎中学校：古國委員発表）

- ・創立 40 周年の記念式典として、カピオを借りて、大洗高校のマーチングバンドに来ていただき盛大に開催する予定。
- ・「オシエルズ」という日本一学校を回るお笑いコンビに学校に来ていただき講演会を進めていく。（いじめといじりの違いなど）
- ・不登校への理解。不登校のお子さんが「学校に来る」がゴールだと苦しいものがある。新しい居場所づくり、いろいろな選択肢をつくってあげたい。また、保護者全体に不登校についての理解を深めていきたい。
- ・コミュニケーション能力アップ、親子で話題を増やしていく必要がある。カヌー体験やさつまいも掘り体験など、親子で体験する活動で共通の話題をつくっていく必要がある。
- ・生徒が教える。生徒が得意なものを、例えば地域のおじいちゃんにパソコンを教えるなど、コミュニケーション能力が高まり、自己有用感が上がってくるのではないかな。

長谷川委員：今、急務として考えているのが高崎十字路を通る子どもたちを誰か見守ってほしい。火曜日、金曜日に立っていただける方を募集したいと思う。それに向けてチラシを作るなどしていきたい。

(4) その他

(1) 家庭教育学級について

①岡田会長による任命

家庭教育部会長：長谷川委員 家庭教育部会員：常國委員
→承認

②「家庭教育学級に関するアンケート結果」について

長谷川家庭教育部会長による説明

- ・家庭教育学級開催希望、63.3%が平日開催、36.7%が土日開催
- ・学びたいテーマ「魅力のある家庭教育」の開催に向けて話合っていきたい。
- ・家庭教育学級の内容として、成長に伴う関わり方、しつけや叱り方について小学生の保護者が期待している。また、家庭学習の進め方について、例えば算数に関して学校の教え方を知りたい。
- ・中学校では、スマホの使い方、SNSのやり方について関心があった。
- ・保護者が集まって意見を共有する家庭教育としてあった方がいいと思う。

6 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 1 回高崎学園コミュニティ・スクール協議会 家庭教育部会		
開催日時		令和 7 年 5 月 23 日（金）開会 16:10 閉会 17:15		
開催場所		つくば市立高崎中学校 図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	部会員	長谷川 清恵、常國 悠香		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 社会教育指導員：小島 健 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員：中山 克己		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		家庭教育学級の方角性について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 部会長挨拶 3 協議「家庭教育学級の方角性について」 4 その他「今後の流れ」 5 閉会			

<協議内容> ○ 4 月実施の保護者アンケートから実施日（平日、土日）や学びの柱について検討する。 ○ 案 1 として、柔らかい雰囲気で開催する講演会で子供へのかかわり方を学ぶ。 ⇒実施の想定をした場合、関係各所に確認や調整する必要がある。 ○ 案 2 として、ファシリテーターを中心に、気兼ねなく話せるテーマで情報交換会をおこなう。 ⇒アンケートコメントの困りごとなどをテーマに使うことも検討する。案 2 であれば、実施時期は 12 月の 2 週目頃の土日の方向で進める。 ○ 今後、社会教育指導員と連絡を取り合いながら講座内容を決定していく。	
--	--